

平成22年3月期 決算の概要

当期のクローラクレーンの世界需要は、世界経済の低迷により前年度に比べ大幅に減少しました。日本、米国、欧州の先進国地域では年度を通して需要が大きく減少し、新興国地域においては年度後半で一部の国や地域で底打ち感が見られるものの為替の円高傾向による買い控えなどにより、極めて厳しい事業環境で推移しました。

国内市場は政権交替により公共工事は全国的に一時凍結、中止や延期が相次ぎ、民間設備投資の動きも鈍くクローラクレーン需要は前年同期比40%の減少となりました。

海外については、主要市場である北米では米国政府による経済刺激策は顕著な効果が出ず、伸び悩み低水準で推移しました。欧州市場も主要国の景気回復が遅れており需要は前年度から大きく減少しました。一方、アジアや中国の各市場などでは各国政府の景気刺激策などによって、需要の下げ止まりが年度後半より見られるものの総じて回復の兆しが見られない状況でありました。

こうした市場環境の中、当社は原価低減、固定費低減、在庫削減に取り組みましたが当期の業績は以下の通りとなりました。

【平成22年3月期の経営成績（連結）】

	対前期 売上高 増減率	対前期 営業利益 増減率	対前期 経常利益 増減率	対前期 当期純利益 増減率
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
当 期	24,012 (Δ48.9)	Δ 1,258 -	Δ 1,251 -	Δ 726 -
前 期	47,000	3,909	3,798	2,317

国内事業については、当社は直接販売・直接サービス体制の下、顧客満足度の向上に引続き取り組んで参りましたが、販売台数が大きく減少し、当期の国内売上高は12,273百万円（前年度比36%減）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中国では子会社の日立住友重機械起重機（上海）有限公司など各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援や新興市場の開拓に努めましたが、当期の海外売上高は11,739百万円（前年度比57%減）となりました。

世界経済は依然、先行き不透明な状況が続くことが予想されることから、今後のクローラクレーン市場は急速な回復が見込まれませんが、国や地域によっては政府の内需刺激策の成果が出てきており緩やかに回復することが見込まれます。

その中で当社は業績の早期回復を図るために、下記の重点方針を推進し、競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減を推進します。
- 2) 顧客満足度のさらなる向上を目指し、関係会社及び代理店との連携強化を図ります。
- 3) 市場の要求に合った新機種開発を継続的に推進します。
- 4) 部品サービス事業を強化し、安定収益の確保を図ります。
- 5) キャッシュフローの改善を図るとともに、内部統制を重視して企業体質の強化を図ります。

平成22年3月期 決算の概要

1. 当期の業績（連結）（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(1) 経営成績

	売上高	対前期 増減率	営業利益	対前期 増減率	経常利益	対前期 増減率	当期純利益	対前期 増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当期	24,012	(Δ48.9)	Δ1,258	—	Δ1,251	—	Δ726	—
前期	47,000		3,909		3,798		2,317	

2. 当期の業績（単体）（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(1) 経営成績

	売上高	対前期 増減率	営業利益	対前期 増減率	経常利益	対前期 増減率	当期純利益	対前期 増減率	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
当期	23,139	(Δ51.1)	Δ1,279	—	Δ1,278	—	Δ741	—	Δ9,262 80
前期	47,313		3,793		3,681		2,201		27,512 64

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
当期	20,025	8,724	43.6	109,054 84
前期	22,878	10,065	44.0	125,817 65

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
当期	Δ2,647	Δ102	1,467	11
前期	2,377	Δ694	Δ522	1,292

3. 貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

	当 期		前 期		増 減
	（ H22. 3. 31現在 ）		（ H21. 3. 31現在 ）		
〈資 産 の 部〉		%		%	
(流動資産)	(16,799)	83.9	(19,550)	85.5	(Δ 2,751)
現金及び預金	11		1,292		Δ 1,281
受取手形及び売掛金	4,402		7,747		Δ 3,345
棚卸資産	11,317		9,119		2,198
その他	1,064		1,388		Δ 324
(固定資産)	(3,225)	16.1	(3,327)	14.5	(Δ 102)
有形固定資産	1,780		2,178		Δ 398
無形固定資産	522		679		Δ 157
投資その他の資産	922		469		453
資 産 合 計	20,025	100.0	22,878	100.0	-2,853

（単位：百万円）

	当 期		前 期		増 減
	（ H22. 3. 31現在 ）		（ H21. 3. 31現在 ）		
〈負 債 の 部〉		%		%	
(流動負債)	(11,276)	56.3	(12,757)	55.8	(Δ 1,481)
支払手形及び買掛金	6,852		10,765		Δ 3,913
短期借入金	3,418		-		3,418
その他	1,001		1,989		Δ 988
(固定負債)	(24)	0.1	(55)	0.2	(Δ 31)
その他	23		54		Δ 31
負 債 合 計	11,300	56.4	12,812	56.0	-1,512
〈純 資 産 の 部〉					
(株主資本)	(8,724)	43.6	(10,065)	44.0	(Δ 1,341)
資本金	4,000		4,000		0
利益剰余金	4,724		6,065		Δ 1,341
純 資 産 合 計	8,724	43.6	10,065	44.0	-1,341
負債及び純資産合計	20,025	100.0	22,878	100.0	-2,853

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 損益計算書 (単体)

(単位：百万円)

	当期		前期		増減	
	H21.4.1から H22.3.31まで	%	H20.4.1から H21.3.31まで	%		%
(経常損益の部)						
営業損益の部						
売上高	23,139	100.0	47,313	100.0	-24,174	-51.1
売上原価	20,538	88.8	39,217	82.9	-18,679	
売上総利益	2,601	11.2	8,096	17.1	-5,495	-67.9
販売費及び一般管理費	3,880	16.8	4,301	9.1	-421	
営業利益	-1,279	-5.5	3,793	8.0	-5,072	-133.7
営業外損益の部						
営業外収益						
受取利息及び配当金	59		20		39	
雑収入	47		18		29	
計	106		38		68	
営業外費用						
雑損失	106		151		-45	
計	106		151		-45	
経常利益	-1,278	-5.5	3,681	7.8	-4,959	-134.7
(特別損益の部)						
特別利益	-		-		-	
特別損失	-		-		-	
税引前当期利益	-1,278	-5.5	3,681	7.8	-4,959	-134.7
法人税、住民税及び事業税	-62		1,662		-1,724	
法人税等調整額	-475		-182		-293	
当期純利益	-741	-3.2	2,201	4.7	-2,942	-133.7

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(お問い合わせ先)
 日立住友重機械建機クレーン株式会社
 経営企画部
 Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379
 〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
 URL/ <http://www.hsc-crane.com>